

第 1 3 回
令和 5 年度定時総会資料

令和 5 年 5 月 1 7 日



一般社団法人
ビルディング・オートメーション協会

第13回 令和5年度定時総会

日 時 令和5年5月17日（水）午後4時00分
場 所 ホテルニューオータニ

総 会 次 第

総会設立宣言

議 事

第1号議案 令和4年度事業報告の承認の件

第2-1号議案 令和4年度収支決算の承認の件

第2-2号議案 令和4年度監査報告の承認の件

第3号議案 令和5年度事業計画案の承認の件

第4号議案 令和5年度予算案の承認の件

第5号議案 役員改選承認の件

第1号議案

令和4年度事業報告

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

2023年4月現在、ようやく新型コロナウイルス感染症流行が沈静化し、政府は新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけについて、5月8日に現在の2類相当から季節性インフルエンザなどと同じである5類相当に移行すると発表されたところです。

長い期間、コロナ以前では見かけなかった生活習慣に慣れてしまったため、いつマスクを外すのが適当なのか？会合での飲食制約はないのか？対面で打ち合わせなのかリモートがいいのか？などこれまでにない選択が生活の中に入ってきました。コロナ以前に戻すものと、リモートワークなど新しく取り入れられた、これからも残すべきものと整理整頓が続くものと思われます。

建築業界全体は といえば、人手不足はさらに深刻化し、ゼネコン・サブコン・計装会社を問わず労務問題に迫られる状況が続いていると認識しております。

さて、弊協会の定時総会を数えること13回であります、ここ3年のコロナ環境下で余儀なくされた「縮小された定時総会」どうにか卒業しまして通常の総会の姿に戻ることができたのは、正常化の1つと捉え有難いことであるとしています。

昨年度、2022年度はBAの業界、また協会にとって色々な変化の年でありました。改正省エネ法に関する様々な発表や、環境配慮法に関する国の審議会の公開、重層下請け構造改善課題について特定のゼネコンから頂いた工事次数の削減など様々なテーマが持ち上がりました。

個別の活動について、別途報告が総会において実施されますが、総括として触れさせていただきます。

調査研究部会は、公共建築工事標準仕様書令和4年版について機械設備工事編・電気設備工事編、これらの標準図書を中心に協会主軸として活躍 いただきました。また様々な公的機関からの問い合わせにつき真摯に回答を作成しています。

広報出版部会、教育施設部会、この2つの部会はコロナ期間中にスタートしたオンラインセミナーに関する企画・設計・実行・評価の全てにわたって精力的に活動いただき、セミナー（「“つくる、ためる、賢くつかう” カーボンニュートラル時代のビルエネルギー」2023/3/10）を担当された先生方と長時間にわたって意見交換を続けるなど新しい取り組みを牽引していただきました。またホームページを通じて会員皆様に情報の共有や発信を継続している件は、ご存じのことと思います。

コンプライアンス部会については、足かけ 2 年となりましたが、重層下請け改善課題につき取り組みいただき国交省、サブコン各社、日空衛などとの打合せ・資料作り・陳情に活躍 いただきました。また 拡大会議によって会員企業に意見交換を求めるなど新しい動きがありました。

さらに昨年度は、上記の部会 活動以外にPJ活動 提案、つまり部会 以外の追加活動の提案があり、承認され今年度としては簡易的な報告になりますが、計装における計量課金事故にまつわる改善のプロジェクトが推進されました。

理事長活動としては、一昨年に続き陳情活動を理事会や有志メンバーと検討しつつ資料を作り、省庁に対する訪問を進めております。これは業界全体の将来における市場拡大に資する内容として位置づけられております。

このようにビルディング・オートメーション協会は社会一般、より多くの方々に認知され、国土交通省を主体とする定常の所轄団体活動、複数の機関への計装・BA 業界としての対応、通達文・ホームページの運営など情報周知、講習会、研鑽会、視察研究会など教育、労務環境課題やコンプライアンスの推進など、4 つの部会活動と新しい要請への対応により、業界の皆様のため貢献すると共に、発生する課題への取り組みや会員相互の技術力の向上、知識共有に取り組んで参ります。

計装・BA 業界の窓口として活動を進めつつですが、現在、会員企業数が減少し 35 社となりましたが、今後も全国で会員を募り、広くご意見を聞く機会を拡げていき、協会の運営を図っていく所存です。

当協会は社会に貢献すると共に、BA 業界の地位向上と会員の皆様の更なる発展を目指してまいります。どうぞ引続きご協力・ご鞭撻をお願い申し上げます。

令和年4年度 定時総会・理事会の開催履歴

定時総会 5月19日開催

第1回定時理事会 5月19日開催

第2回定時理事会 7月21日開催

第3回定時理事会 9月15日開催

第4回定時理事会 11月17日開催

第5回定時理事会 1月19日開催

第6回定時理事会 3月16日開催

※各理事会の議事録は、ホームページに掲載されています。ご参照下さい。

一般活動報告

1. 中央官庁等対応

下記中央官庁他団体からの照会に対応した。

- ・国土交通省 大臣官房官庁営繕部
- ・経済産業省
- ・（一社）公共建築協会

2. 部会活動

1. 調査研究部会

＜中央官庁等対応＞

- ・国土交通省 大臣官房官庁営繕部 設備・環境課
「建築設備計画基準 令和3年度版」
「建築設備設計基準 令和3年度版」
上記改定作業（意見照会・データ提供等）。令和6年7月施行予定
「自動制御工事納期状況」
上記問合せ対応
- ・（一社）公共建築協会
「設備機材等評価名簿（自動制御）」
上記意見照会
- ・経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課
「産業サイバーセキュリティ研究会(WG1-SWGビル分野)」に参加（継続）。
SWG活動成果：「ビルガイドライン（空調編）」経産省HPに公開

2. 広報出版部会

- ・ホームページコンテンツの維持、更新を行った。
更新内容は、官庁通達、総会、理事会議事内容、視察方向等。
また、体制、会員情報変更等の情報を修正、更新した。
- ・ホームページの会員ページのパスワードについては、
会員更新時に合わせて変更を実施した。
- ・令和4年度版パンフレットを製作し印刷。関係者に配布した。
- ・計装工業会機関誌への寄稿により、建設業界へのBA協会の知名度向上。
- ・オンラインセミナー実施にあたり、運営企画及び現場指示を行った。

3. 教育視察部会

<教育視察活動一覧>

- 2022/05/19 令和4年度定時総会講演（講演会は中止）
 - 2022/05/26 第1回研鑽会実施
講演テーマ「最新バージョンBACnet2020の基本」
※電気設備学会主催BACnet講習会に6名参加
 - 2022/12/16 第2回研鑽会実施
講演テーマ「BACSにおけるBACnetの実際適用」
※電気設備学会主催BACnet講習会に5名参加
 - 2022/11～2023/03 第3回研鑽会オンラインセミナー準備会実施（13回）
 - 2023/03/10 第3回研鑽会オンラインセミナー実施
『つくる／ためる／賢くつかう』カーボンニュートラル時代のビルエネルギー
※会員企業約187名参加（広報出版部会共催）
 - 2023/03/23 第3回研鑽会オンラインセミナーアンケート実施
- ※視察研究会はコロナのため中止

4. コンプライアンス部会

<コンプライアンス、労務環境対応>

- 官公庁等からの通達事項を確認し、ビルディング・オートメーション業界での関連事項を理事会に答申。
- 社会保険加入の徹底に加えて、建設キャリアアップシステムの普及推進や適切な賃金水準の確保など、同プログラムにおける「給与・社会保険」の分野に関する取組を議題とする「建設業社会保険推進・処遇改善連絡協議会」に出席。
- 重層下請構造の改善に向けた取組として、部会活動の派生協議の場として拡大会議を設置し、ビルディング・オートメーション業界での問題点のとりまとめを行い、国土交通省や関係諸団体等との意見交換を実施、その対応策の検討を行った。

3. 官庁からの通達文書配布リスト

2022 年度（令和 3 年～令和 4 年度）

発信者	件数
国土交通省不動産・建設経済局	51
国土交通省	5
経済産業省	5
厚生労働省	2
その他	9
なし	2

計 74 件

第2-1号議案

令和4年度収支報告（単位：円）

	単 価	金 額
前年度繰越金		2,065,382

【1. 経常収入の部】 (令和4年度予算)

会費収入			
年会費(36社)	60,000	3,240,000	3,000,000
利息		13	10
経常収入合計		<u>3,240,013</u>	<u>3,000,010</u>

【2. 経常支出の部】

通信費	0	3,000
旅費交通費	258,075	750,000
交際費	192,748	200,000
広告宣伝費	41,800	60,000
消耗工具器具備品費	0	10,000
事務用品費	1,320	10,000
諸手数料	13,199	15,000
会議費	1,001,657	250,000
業務委託費	776,452	700,000
図書講習会費	137,668	20,000
教育訓練費	1,430,130	950,000
予備費	0	32,010
経常支出合計	3,853,049	3,000,010

経常支出差額	▲613,056	0
--------	----------	---

法人税等(印紙税、消費税)	104,000	120,000
---------------	---------	---------

次期繰越金	1,348,326	
-------	-----------	--

第2-2号議案

監査報告書

一般社団法人ビルディング・オートメーション協会 殿

本協会定款27条に基づき、本協会の業務および会計を監査する為、関係帳票を精査の結果、業務執行状況および計算書類ともに適正であり、妥当であることを認めます。

2023年4月21日

一般社団法人ビルディング・オートメーション協会

監事

菅沼 孝至



第3号議案

令和5年度事業計画（案）

ビルディング・オートメーション業界の発展を目指すとともに、国土交通省等の窓口団体として以下の事業を行なう。

中央官庁他外部団体対応（主査：調査研究部会）

- ・国土交通省およびその関連団体に対し、業界の窓口としてBAに関する諸委員会への参画、ならびにBA業界への依頼要請への対応を行なう。
また、BA業界における課題解決の取り纏めを行ない、必要あれば諸答申を行なう。
- ・国土交通省をはじめ、経済産業省、厚生労働省、環境省等からの、BA業界への指導・通達・要請に対し、業界の窓口として対応する。
- ・他業界団体等からの要請等に対し、業界の窓口として対応する。
- ・「ビルのサイバーセキュリティ問題」について経済産業省等の関係団体と連携し、外部からのサイバー攻撃等に関するリスクの調査・研究を行ない、BAにおける制御システムセキュリティの強化のための研究活動を継続して行なう。

教育活動（主査：教育視察部会）

- ・BA事業の市場拡大や技術向上を目的とした、協会会員の技術研鑽、知識向上のための教育を多面的に捉え、最新技術に関する講演会ならびに現場視察研究会、課題解決を図るための勉強会等、協会会員参加による研鑽会をオンライン開催も活用し、企画・実施する。
- ・必要があれば、広報出版部会やコンプライアンス部会などの関連部会と連携して協会会員の参加による外部研修会への参加を企画し、会員の技術研鑽への啓蒙を図る。

広報活動（主査：広報出版部会）

- ・ホームページを充実させ、協会の認知拡大、イメージ向上を行う。
- ・ホームページに本会の活動報告や出版物を掲載し、会員へ情報提供を行う。
- ・関連団体開催の諸会へ協賛等による、広報活動を行う。
- ・本会の活動成果・関連資料などの出版を行い、会員及び業界全般へのサービス提供を行う。
- ・本会パンフレットの発行を、毎年定時総会終了後に行う。
- ・雑誌などへ寄稿や協会広告掲載を検討、実施する。
- ・教育視察部会と連携して、セミナーを企画し、実施運営を支援する。
- ・ホームページやパンフレット、PPTフォーマットなど協会のイメージを社会変化に合わせるよう検討する。

コンプライアンスの推進（主査：コンプライアンス部会）

- ・国土交通省をはじめ、経済産業省、公正取引委員会等からの「関連する法令や指針及びガイドラインの遵守」等の指導・通達・要請について、会員企業への周知徹底を図る。
また、ビルディング・オートメーション業界における課題解決の取り纏めを他の部会との連携にて行なう。
- ・建設現場における建設系ASP(Application Service Provider／建設キャリアアップシステムやグリーンサイトなど)および、重層下請構造の改善に向けた取組について、運用状況を継続して監視する。また、状況に応じて国土交通省や関連団体に対し陳情や意見交換等を行う。

業界の窓口対応（理事長活動他）

- ・ビルディング・オートメーション市場の今後のビジネス発展、市場開拓に寄与する業務。
- ・会員企業の地位向上に資する活動や協会の知名度を高める活動。
- ・1つの企業では解決できない業界的な共通課題への対処。

協会運営の強化

- ・国内のビルディング・オートメーション市場で事業活動を行っている企業を幅広く把握し、入会等会員の増強を図る。
- ・会員企業との意見交換を実施し、市場の動向と協会への意見・要望を把握し、協会活動の充実を図る。

第4号議案

令和5年度予算案（単位：円）

前年度繰越金 1,348,326

【経常収入の部】

年会費収入 35社 3,180,000 (昨年度実績からの見込み)

雑収入(総会会費等) 320,000

利息 10

経常収入見込み 3,500,010

【経常支出の部】

通信費 3,000

旅費交通費 150,000

交際費 200,000

広告宣伝費 60,000

消耗工具器具備品費 5,000

事務用品費 5,000

諸手数料 15,000

会議費 580,000

総会懇親会 320,000

業務委託費 700,000

図書講習会費 60,000

教育訓練費 1,400,000

予備費 2,010

経常支出見込み 3,500,010

法人税等 120,000

次期繰越金見込み 1,228,326

第5号議案

会長・副会長承認の件

会長	(重任)	濱田 和康
副会長	(重任)	吉田 浩
副会長	(新任)	上林 博明

役員改選承認の件

代表理事	(新任)	渡邊 賢佳
------	------	-------

理 事	(重任)	真壁 則義	増田 正範	朝妻 智裕
		上原 和夫	岩城 保直	寺林 誠
		内藤 博人	木村 征吾	

理 事	(留任)	宇賀神 浩憲
-----	------	--------

理 事	(新任)	溜谷 和彦	福世 雅之	三嶽 章一郎	伊藤 均
-----	------	-------	-------	--------	------

監 事	(重任)	菅沼 孝至
-----	------	-------

退任理事	小澤 浩	岩崎 博久	赤井 健二
------	------	-------	-------

報告事項

令和5年度会長・副会長（案）

会長	濱田 和康
副会長	吉田 浩
副会長	上林 博明

令和5年度役員（案）

理事長	渡邊 賢佳
-----	-------

令和5年度会長・副会長(案)

会長： 濱田 和康

アズビル(株) 執行役常務 ビルシステムカンパニー社長

副会長： 吉田 浩

ジョンソンコントロールズ(株) 代表取締役社長

副会長： 上林 博明

パナソニックEWエンジニアリング(株) 技術統括部 取締役統括部長

令和5年度役員(案)

理事長： 渡邊 賢佳

アズビル(株) ビルシステムカンパニー 営業本部 担当部長

理 事： 真壁 則義

(株)ニシテック 東京支店 理事 営業部長

理 事： 増田 正範

ジョンソンコントロールズ(株)

営業推進本部 営業開発統括部 営業2部 担当部長

理 事： 朝妻 智裕

東芝インフラシステムズ(株)事業開発センタービルDX推進部 担当部長

理 事： 上原 和夫

パナソニックEWエンジニアリング(株)

東京本部 ビルシステム事業統括部 ビルシステム事業推進部 部長

理 事： 岩城 保直

ジョンソンコントロールズ(株)

ソリューション開発本部 プロダクトマネジメント部

理 事： 寺林 誠

アズビル(株) ビルシステムカンパニー 営業本部 専任部長

理 事：内藤 博人

アズビル(株) ビルシステムカンパニー 事業管理部企画1グループ

理 事：木村 征吾

(株)オーテック 環境システム事業部 技術統括部 部長

理 事：宇賀神 浩憲

パナソニックEWエンジニアリング(株)

東京本部 ビルシステム事業統括部 システム技術第二部 部長

理 事：溜谷 和彦

アズビル(株) ビルシステムカンパニー 営業本部営業1部 部長

理 事：福世 雅之

日本電技(株) 事業本部 工事管理部 部長

理 事：三嶽 章一郎

アズビル(株) ビルシステムカンパニー 計装本部計装営業企画部 担当部長

理 事・事務局長：伊藤 均

アズビル(株) ビルシステムカンパニー 営業本部営業3部 課長代理

監 事：菅沼 孝至

東テク(株) 計装事業統括部 執行役員 東京計装事業部

副事業部長 兼 営業部長業部長

正会員（令和5年3月31日現在） 35社

特別会員

一般財団法人 建築保全センター

公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会

一般社団法人ビルディング・オートメーション協会

〒104-0061 東京都中央区銀座2-14-5 TWG銀座イースト 8階

TEL 03-3248-0889
